

外用殺菌消毒剤

日本薬局方 消毒用エタノール

消毒用エタノール「NP」

ETHANOL FOR DISINFECTION

貯 法：室温・遮光保存

使用期限：容器等に記載

※注 意：「取扱い上の注意」参照

承認番号	22500AMX00828
薬価収載	2013年12月
販売開始	1965年11月
再評価結果	1982年8月

禁忌（次の場合には使用しないこと）
損傷皮膚及び粘膜〔損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。〕

【組成・性状】

販売名	消毒用エタノール「NP」
有効成分 (100mL中)	日本薬局方 エタノール 83mL
性状	無色澄明の液で、揮発性である

【効能・効果】

手指・皮膚の消毒、手術部位（手術野）の皮膚の消毒、医療機器の消毒

【用法・用量】

本剤をそのまま消毒部位に塗布する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合は直ちによく水洗すること。
- 2) 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。〔エタノール蒸気に大量に又は繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。〕

2. 副作用

本剤は、副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
過敏症 ^{注1)}	発疹等
皮膚 ^{注1)}	刺激症状

注1) このような症状があらわれた場合には、使用を中止すること。

3. 適用上の注意

1) 投与経路

外用にのみ使用すること。

2) 使用時

- (1) 同一部位（皮膚面）に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
- (2) 本剤は血清、膿汁等の蛋白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。
- (3) 金属器具を長時間浸漬する場合には、腐食を防止するために0.2～1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。

- (4) 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
- (5) 本剤は引火性、爆発性があるため、火気（電気メス使用等も含む）には十分に注意すること。また、電気メスによる発火事故が報告されているので、電気メス等を使用する場合には本剤を乾燥させ、アルコール蒸気の拡散を確認してから使用すること。

4. その他の注意

承認外の経皮的エタノール注入療法（PEIT）使用例で、注入時の疼痛、酩酊感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。

【薬効薬理】

使用濃度において、グラム陽性・陰性菌、酵母菌、ウイルス等に有効であるが、芽胞及び一部のウイルスに対する効果は期待できない。

※【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：エタノール（Ethanol）

化学名：Ethanol

分子式：C₂H₆O

分子量：46.07

構造式：



性状：・無色澄明の液である。

- ・水と混和する。
- ・燃えやすく、点火するとき、淡青色の炎をあげて燃える。
- ・揮発性である。

※※【取扱い上の注意】

- ※1. 密栓し、火気を避けて保存すること。
- ※2. キャップを取るときは、液が飛び出さないように容器の肩部を持ちキャップを開封すること。（500mL容器）
- ※※3. 安定性試験
最終包装製品を用いた加速試験（40℃、相対湿度75%、6カ月）の結果、消毒用エタノール「NP」は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。¹⁾

※※【包装】

500mL、10L

※※【主要文献】

- ※※1) ニプロ（株）：社内資料（安定性試験）

※【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】

主要文献欄に記載の社内資料につきましても下記にご請求ください。

ニプロ株式会社 医薬品情報室
〒531-8510 大阪市北区本庄西3丁目9番3号
☎ 0120-226-898
FAX 06-6375-0177



製造販売 ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号